

人権の目

226

「つながる」子育ての家庭も幸せに

神和認定こども園

子ども・子育て支援担当

保育教諭 岩谷 真由子

私は、「子育て支援」と「絵本」をキーワードに、子育て中の親子を応援してきました。その一つとして、現在三木市で行われている「親子の絆づくりプログラム」(以下、BPPプログラム)について紹介します。

産後うつや子ども虐待など現代の子育ての困難さは、親たちの育児の経験や知識の不足からの精神的ストレスによるところが大きいと感じます。BPPプログラムは、育児不安やストレスを軽減し、穏やかな心で赤ちゃんに関わることで「親子の絆」を深め、子どもの心に「心の安定根」を育むことをめざしています。「親子の絆づくりプログラム」赤ちゃんがきたー(BPP)

は、生後2〜5カ月の初めての赤ちゃんがいる母子10組を対象に、毎週1回2時間、連続4回で構成され、グループワークを中心に、同じ月齢の赤ちゃんを持つ母親同士が日常の気掛かりなどをおしゃべりしながら、親としてゆっくり学び合う場です。このプログラムは、こども家庭庁の「親子関係形成支援事業」の条件を満たしています。参加者は、他の人の赤ちゃんへの関わり方を実際に見たり聞いたりすることで、自分の子育てに生かすことができます。同じ立場の母親に学びながら、自分の体験が他の人の役に立つことも実感します。参加した母親同士が前向きに支え合う関係を築きつながり合うことが、このプログラムの魅力です。

初めから一人前の親はいません。また、完璧な子育てはありませんし、完璧が良いわけでもありません。親たちが自分自身を大切にしながら、親としての役割を引き受けていく、その過程を支えるのは、子育て仲間とつながりや親子が一緒に過ごす時間、そして、親たちが育ちあう時間を大切にしている温かい社会のまなざしです。

親は「赤ちゃんを泣かせてはいけない」と思いがちですが、赤ちゃんは泣くことで何かを伝えようとしています。今の子育て支援は「親に代わって育児をする」傾向がありますが、それでは親が親として育つ機会を奪ってしまいかねません。赤ちゃんが親に泣いて訴えているのに、支援者が抱いて泣き止ませていては、赤ちゃんが発する親への感情表現を妨げてしまいます。大切なのは「親を運転席に、支援者は助手席に」です。「なぜ泣いて

三木金物まつり実行委員会からのお知らせ

三木金物まつり 検索



巡回バスの発着駅を恵比須駅のみに変更

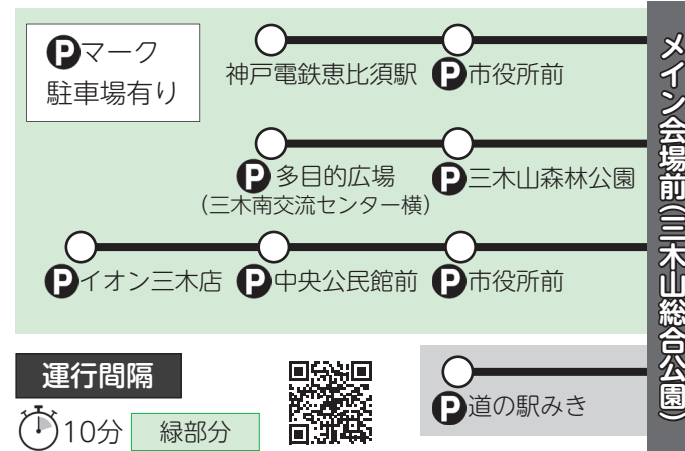
11月1日(出)、2日(日)に開催予定の三木金物まつり2025では、当日無料巡回バスが運行します。今年は、運行の効率化を図るため、巡回バスの発着駅を神戸電鉄恵比須駅に一本化します。



問 三木金物まつり実行委員会事務局
・(市)商工振興課 かなもの振興係
・三木商工会議所 ☎82-3190

巡回バス運行図

始発(各地発) 午前8時30分
最終(会場発) 午後4時30分



運行間隔

10分 緑部分
15分 グレー部分



▲巡回バス
案内図はこちら

昨年から主な変更点

- ・神戸電鉄志染駅と会場のピストン運行を廃止
- ・市役所経由イオン三木店行の路線にて、神戸電鉄三木上の丸駅・三木駅の乗降を廃止
- ・会場発最終時刻を午後4時30分に変更(金物まつりの終了時間は両日とも午後4時)

フリーマーケット出展者を募集しています。詳細は30ページを確認してください。

エフエムみっきいからのお知らせ

エフエムみっきい 検索



キーワードは防災情報

コミュニティ放送局は災害時に市民の生命と安全を守るため、きめ細やかな災害情報やライフライン情報などを発信することが求められます。地域での防災情報や有事の際における災害情報の伝達手段としての役割はさらに重要になっています。

9月9日(火)は救急の日

「みくらぢハチヒル」内で北播磨総合医療センター看護師の松尾香帆さんと、消防本部の西村教行さんをお迎えして、普段から気を付けておきたい非常時の対策について伺います。

日 9月9日(火) 午前11時10分～
(再)同日 午後6時20分～

フェーズフリーでサステナブル
みんなのサンデー防災
日曜 午後2時～

小さな努力で大きな防災
杉本・大田の防災教室
日曜 午後3時～
(再)月曜 午後7時～

防災番組紹介



9月 三木市議会中継

- ▶ 11日(木)、12日(金) 質疑・一般質問 (16日(火)は予備日)
- ▶ 30日(火) 討論・採決など、閉会

FM エフエムみっきい 76.1MHz

〒673-0493 上の丸町10-30
☎86-0761 ㊚86-1761
㊚761@fm-miki.jp